

日本で唯一？ バンブーギター・デュエット

デュオ アルゲンテウスの紹介



ギター製作者＋演奏者：前田剛志（技術士）

演奏者＋報告者：矢ヶ部輝明（技術士）

メンバー紹介

- 前田剛志（技術士（建設部門）、コンクリート診断士）70歳

建設コンサルタント会社で、土木技術者として、主に、河川構造設計技術者として勤務。定年後、バンブーギター製作家中山修に師事し、バンブーギター製作者として修業中。ギターは、中学生より始める。



- 矢ヶ部輝明（技術士（総合技術監理部門、建設部門）） 62歳

建設コンサルタント会社で、土木技術者として、主に、環境計画、地域づくりを専門とする技術者として勤務。退職後、小学生から始めた趣味のギターで、演奏会、高校ギター部の演奏指導等をおこなう。



バンブーギター・デュエット アルゲンテウスの誕生

- 還暦を迎えて、ギター製作家中山修氏に師事し、ギター製作を始めた前田氏。同じく、遅れて還暦を迎え、ギター演奏に目覚めた矢ヶ部
- 二人が、30年ぶりに、八女の「八女ギターフェスティバル」で再開したことが切っ掛け。
- 竹で作ったギターの魅力を、自分も楽しみながら「ギターの音楽をみんなに」ということで、日本で唯一(?)のバンブーギター・デュエット「デュオ・アルゲンテウス」を結成し、まずは、身近な場所でコンサート・ライブを行い、バンブーギターのPR活動を進めています。
- 「アルゲンテウス」とは、「銀」を意味するドイツ語です。

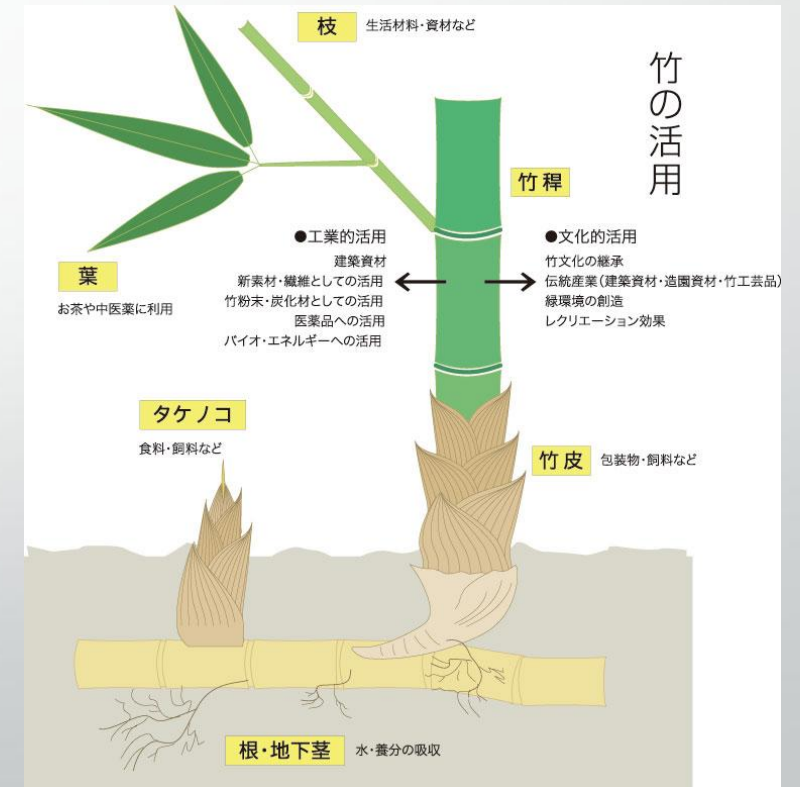
バンブーギターとは、

「竹」は、日本固有の文化を支えてきたのに、いまでは、厄介者に

私たち日本人と竹の関わりは古く、縄文時代の遺跡から竹を素材とした製品が出土しています。農業・漁業などの生業、日用品としても、竹はごく身近にあって、軽くて加工性の高い素材として、日本では、活用されてきました。

伝統的な日本家屋にはいたる所に竹が使われていました。また、竹は古来から積極的に日本各地に植えられ、手入れの行き届いた竹林は、美しい風景をかたちづくってきました。

しなやかでいて強く、多岐にわたる用途に活用できる竹は、まさに自然からの恵みであり、日本文化の伝承や人々の暮らしに欠かせない植物です。 **しかし、 . .**



農林水産省のHPより引用

竹害

- 元来繁殖力が異常に強い樹種である孟宗竹は、これによって竹林の周囲に無秩序に進出し、既存の植生を破壊していった。
- 孟宗竹が進出するとアカマツやクヌギ、コナラなどかつて里山で優勢であった樹種が置換され、生態系が単純化してしまうことや、孟宗竹は土壌保持力が低いため崖崩れが起きやすくなるなど、各種の害が発生することが現在問題視されている。（以上、「ウキペディア」より）



でも、竹は魅力ある素材には間違いない！

バンブーギターの紹介

バンブーギターとは

八女市立花町に繁茂する大口径孟宗竹の硬質部分に弦楽器の素材としての可能性を見出した*中山修が、13年の歳月をかけて開発した遠達性のある演奏会用の竹製のクラシックギター、特許第4414483号。主な特徴は①弾性波速度の速い竹の硬質部分に対応した接着剤の使用。②乾燥収縮に依る竹特有の湾曲を直交異方性の合板を作成する事で解決。③竹の弾性係数大なるが故に音の遠達性が高く、加えて音質の煌びやかなること。④ナルシソイエペス氏が*中山修に残した遺言『ネックから音の出るギターを造れ！』の実現がミッションのゴール。



前田剛志製作 バンブーギター

バンブーギター開発の経緯

話は半世紀ほど前へ遡る…小原安正氏の指導を得て早稲田大学2年生時、19歳でスペインに渡った*中山修は、ナルシソ・イエペス氏に奏法を、ラミレス三世にクラシックギター製作をそれぞれ9年間学び、帰国後ギタリスト&製作家として活躍した。芸術家としての全盛期、30代後半に交通事故で両手首を骨折、ギターに対する燃える思いを泣きながら封印、20年が経過する。そして断ちがたい夢を捨て切れず、60歳を目前に不死鳥のごとく蘇り、バンブーギターの開発に全力投球。2009年8月に筆者が特許申請し、2009年11月、異例のスピードで特許化された。

バンブーギターは八女市の名と共に海を渡り、過去4年間、毎年韓国政府に招待され、異国のギター展示会に出展、外国人ギタリストの高い評価を得ている。

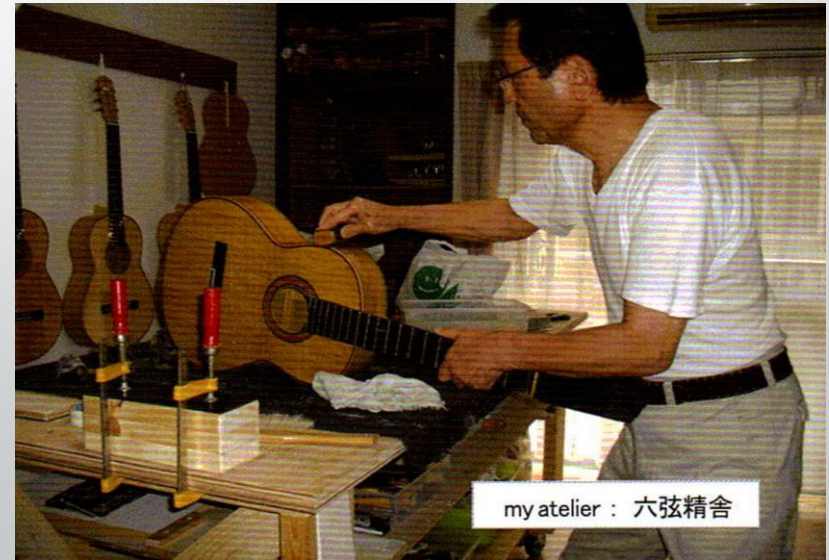


ギター製作の現場

(前田氏ギター工房 六弦精舎)

- 土木技術者としての感性を活かしたギターづくり
- 応力計算、設計図作成、材料力学的な知見など、ギター製作家が経験に頼っているところを、一気に土木工学的な発想で取り組んでいます。
- モノづくりへのこだわり！
- 半端じゃない！

前田工房をちょっと拝見





前田工房で練習



おおお！ やってますねえ！！

弦楽器フェアへの出展風景



第58回弦楽器フェアにて
左は中山修氏。中央は、ストラビバリ
ウスモデルの巨匠Stefano.Comia氏



クラシックギター フェスタ 2016 in 大阪港南ATC にて

本業＋ギター製作＋ギター練習＋酒飲み！！！！

本業の仕事やギター製作を行いつつ、毎月2-3回程度の練習を行っています。

ただ、練習後の一杯のほう
がメインになることもたび
たび・・・・・・・・



姪浜の食堂でのライブ風景



主なライブ先

- ・ フレンチレストランM（西区姪浜）
- ・ みどり食堂（西区姪浜）
- ・ プライムハウス（早良区原）
- ・ 吉野（中央区警固）
- ・ ライトハウスコーヒー（南区大橋） 等



ライブのチラシ

第1部 パンブー・ギター2重奏
 マッシュケナダ / J.ベン
 また君に恋している / 森正明
 アダージョ / A.マルチェロ
 主題と変奏 / J.ブラームス
 月光 (二重奏) / F.ショ
 インスピレーション / ゴッティンギ

第2部 パンブーギターの魅力をソロで
 アラビア風奇想曲 / F.タレガ
 ラグリマ、アダリョ / F.タレガ
 ミロンガ / J.カルドソ
 エストレリャ / M.ボンセ
 アルフォンシーナと梅 / A.ラミレス
 ひまわり / H.マンシーニ
 マルタ / M.ペライア
 失われた恋 / J.コスマ
 もしも彼女が尋ねたら / D.レイズ
 雪の華、はなみずき 等



前田剛志製作

演奏：前田剛志、矢ヶ部輝明

パンブーギターの世界

平成28年6月19日(日)
 18:30 - 20:00ころまで
 (開場 18:00)

Midori 食堂

福岡市西区経浜 8-8-2(地下鉄経浜駅より徒歩約10分)
 TEL 092-834-3400

無料
 お店のおいしい飲み物、食事をとりながらお楽しみください

ちなみに、演奏者も...as my wine goes on...ということ




前田剛志製作のパンブー・ギターによるクラシックギターのひとつ

第3回

デュオ・アルゲンテウス

パンブー・ギターサロン in 姪浜

※「デュオ・アルゲンテウス」：白銀(しらがね)という名前前の二人組です



演奏曲目	
第1部 演奏で私たちがパンブー・ギター2重奏 マッシュケナダ / J.ベン また君に恋している / 森正明 アダージョ / A.マルチェロ 主題と変奏 / J.ブラームス 月光(二重奏) / F.ショ インスピレーション / ゴッティンギ	17:30開演、17:45〜開演前 18:00開演
第2部 パンブー・ギターとのアンサンブル オカサカギター 用の製法のように 音 ビエニカギター 古くからのサンパ、ワグネル・サンパ、ペタメ・ムンヂ、チコ・チコ	18:00〜18:15開演 18:15〜18:30開演
第3部 パンブー・ギターの魅力をソロで アラビア風奇想曲 / F.タレガ ラグリマ、アダリョ / F.タレガ ミロンガ / J.カルドソ ハードランドの子守歌 / J.コスマ アルフォンシーナと梅 / A.ラミレス、チャイナス	18:30〜18:45開演 18:45〜19:00開演

*開演前にはお楽しみください。*開演後、18:30〜19:00まで

平成28年6月1日(水) 18:00-20:00

ワイン処「café winebar M」

福岡市西区経浜駅北

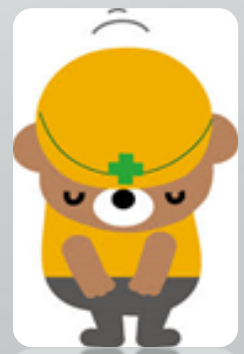
*無料(お店の飲み物・料理をご注文ください)
 お店のおいしいワイン、食事をとりながらお楽しみください



パンブーギターとは

八女市立花町に繁茂する大口徑孟宗竹の硬質部分に張楽器の素材としての可能性を
 見出した*中山裕が、13年の歳月をかけて開発した遠達性のある演奏会用の竹製のクラ
 シックギター、特許第4114403号。主な特徴は①弾性遠達性の高い竹の硬質部分に対応
 した張器の使用、②乾燥収縮に依る竹特有の真直を直交異方性の合板を作成する事
 で解決、③竹の弾性係数大なるが故に音の遠達性が高く、加えて音質の暖びやかなこと。
 ④ナルシソイェベス氏が*中山裕に贈った遺言『ネックから音の出るギターを造れ!』
 の実現がミッションのゴール。

ギターが好きな素人です。
 ミスややり直しもありますが、
 ご容赦ください。
 楽しんで演奏します。
 本職は、二人とも土木屋です。



RKB、NHK等テレビにも出演

- バンブーギター演奏者としてテレビ番組で紹介
- RKB毎日放送 共感ニュース「音風景」 2017.06.29
- NHK放送（福岡） 「支局だより」 2017.06.27





久留米市夏祭り参加風景

おまけ 矢ヶ部のギター一活動



若葉高校ギター一部の指導風景

春日市ロビーコンサート風景



これからの夢

前田氏の夢

孟宗竹の合板材料がギター界で普及し始めれば、里山で竹材の管理伐採が行われ、子供の頃のあの美しい原風景が蘇ってくるかも知れません。日本を代表する竹材で目指す音響のバンブーギターが完成したら本場スペインで展示会を開催したいものです。

矢ヶ部の夢

デュオ・アルゲンテウスの一員として、そして、土木技術者として、地域づくりに関わる役割を果たしながら、楽しくギター弾いたり、お酒を飲んだり、みんなと語り合いながら、一日一日を大切に生きていきたい、です。

